オリーブ畑でつかまえて

妻沼産オリーブとロハス

オリーブ畑からの架け橋

埼玉福興株式会社(代表取締役　新井利昌さん)が進めているオリーブ栽培などをはじめとした取り組みは地域における農業のあり方、社会における障がい者就労の可能性を問う上で多くの視点を与えてくれる。それは20世紀後半から欧米で実践されるようになった「ソーシャルファーミング」と呼ばれる農業における耕作や生産活動を通じて社会的事業を進める試みを想起させる。これに加えて、障がい者たちを社会から孤立させない事業として知られる「ソーシャルファーム」や、「農業を活用した就労訓練やリハビリテーション機能の拡充」という「グリーンケア」といった今日的なテーマとも付随する事業が、熊谷の妻沼地域で新たな段階を迎えていることは実に興味深いと言えよう。ソーシャルファームの確立の中に、人間の生き方、障がい者支援が見えてくる点は画期的であり、その内容の多くに現代の農業が抱える課題に対してのヒントがあるように思える。現在、「ソーシャルファーム」に関連した法的整備に対する社会的な要望も高まりを見せているが、妻沼の事例においては、今ある制度を生かし、福祉の領域から事業の進捗が図られていることが特色である。こうしたオリーブ畑での取り組みは未来の農業に向けての新たな架け橋になり得る可能性を有している。

農業生産とサステナビリティ(持続可能性)

埼玉福興が進める農業の一つの特徴として挙げられるのは、農業の多様性、産品の多角性にあるように思える。オリーブを筆頭として、自然栽培・無農薬木耕栽培、ネギ苗、ルッコラ・水菜・サラダほうれん草などを育み、それらが消費者や店舗への供給など流通のネットワークに組み込まれることで生産物の更なる価値向上が期されている。

オリーブの生産に目を向けると、熊谷でのオリーブ栽培という一見意外性のある切り口から事業が創出されていることが分かる。この点と合わせて、日本におけるオリーブブームも一役買い、妻沼産オリーブへの世代を超えた関心を集めることにつながっている。これは総じてオリーブのほか、妻沼の地で生産された農作物に関する情報として広く周知され、生産の多角化を進める動機付けになっていると言える。生み出されたオリーブと野菜などに対して多くの興味関心が寄せられることによって、生産者自身の意識も更なる高みを目指すことが求められている。

元来、就労を担う農業という基本的な捉え方がある中で、オリーブオイルに対する栄誉ある受賞など生産品への高い評価が、ファーム全体の良好な雰囲気の醸成、就労者が果たした役割への着目など様々な良い効果をもたらしている。こうした取り組みが継続的に将来にわたって機渡してきるかという観点を持つ時、まさにサステナビリティ(持続可能性)のある農業の将来像を描く上でも、妻沼発の挑戦はグローバル化された農業分野においても大きな意義を持つものである。それは21世紀に入り、欧米の文化的傾向を日本型スタイルで受容する事例の一つである「LOHAS」(ロハス)との関わりが見えてくる。

LOHASと農園の取り組み

ヨーロッパでの農業において、その生産を担う環境に対する意識は極めて高い。特に持続可能な農業という認識は、「持続可能な開発」という経済学者のアマルティア・センの提言を達成するとともに、今日注目されている「LOHAS(Lifestyles Of Health And Sustainability)」の一端を覗かせている。ロハスとは、地球環境保護と健康な生活を最優先し、人類と地球が共栄共存できる持続可能なライフスタイルと、それを望む人たちの総称である。ロハスという用語は、21世紀初頭にアメリカで社会学者ポール・レイ氏と、心理学者のシェリー・アンダーソン氏らによって広められた。

ロハスの典型的な傾向として、「持続可能な地球環境や経済システムの実現を願い、そのために行動する」、「自分の快楽、生き残りだけを追求する大量生産、大量消費型社会とは一線を画し、持続可能な自然環境と社会システムのもとで、すべての人々が共栄共存できる社会を志向する生活創造者(Cultural Creatives)たち」などが挙げられている。

加えて、ロハスビジネスの急速な拡大も見られ、自然エネルギー、社会的責任投資(SRI)、オーガニック食品、エコツーリズムなどは利益と社会的責任を両立させながら、環境と人間の健康を守ろうとするロハスの取り組みが幅広く進展している。

これらの中で着目すべきは、地球環境や従業員の労働条件に配慮し、地域社会に貢献しながら安定した利益をあげることを目指す「企業の社会的責任(CSR)」という考え方を、ビジネスの中心に据える動きが年々広がっている点である。

これらの方法を模索する中でも、妻沼のオリーブ畑や農場で実践されている事業については示唆を含む部分が多い。埼玉福興では、福祉の領域の中で障がい者にとって収入的にも限界がある課題の中で、仕事の中に福祉を参画させ、給付制度などの活用や支援者からの協力から自立した集団を確立する方向性を見出している。このような実践を進めるとともに、「福祉の中に農業」から「農業の中に福祉」への転換を意識し、障害者も企業の戦力として機能させ、共に力を合わせて企業活動を推進させていくことを目指している。

オリーブや自然栽培野菜への関心の高まりはロハス的な文化的側面を表すものである。それと同時に、企業運営や社会的事業の促進、福祉と農業の融合によって、人間と社会、自然文化と歴史、地域とコミュニティが共生することの意義が示されている。オリーブ畑から収穫されたオリーブの一つ一つがロハスの理想を育みながら、熊谷発のモデルを世界に発信し続けている。(Y)

埼玉福興株式会社

設立日　1996年5月20日
住　所　弥藤吾2397-8

事業内容
1.障がい者施設の管理運営
2.農産物の生産及び販売
3.自立支援サポート

表彰
障がい者雇用促進のための職場改善コンテスト奨励賞
OLIVE JAPAN 2014 国際オリーブオイルコンテスト　銀賞受賞
第62回埼玉県更生保護大会　さいたま保護観察所所長感謝状
OLIVE JAPAN 2016 国際オリーブオイルコンテスト　金賞受賞

研究開発への参画
平成27年度「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域プロジェクト企画調査「農地と里山が結ぶ多世代参加の医農福連携モデル」にて農業生産法人・福祉事業所・特例子会社の調査。

世界が認めた金賞オリーブオイル

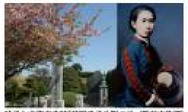
美容・健康効果とお洒落なイメージから国内でも人気が急上昇しているオリーブオイル。クラリスファームでは現状、オイルはごく少量の生産にとどまり販売は行われていないが、高品質なエキストラ・バージン・オリーブオイルの探求に力を注ぐ。その技術は業界でも高く評価され、平成28年には国際オリーブオイルコンテストで金賞を受賞。今後オリーブ園の規模と実の収穫が増え、バナナのようなフルーティーさの「金賞オリーブオイル」が一般に入手できる日が期待される。(N・T)

文化財で街おこし

荻野吟子 日本初の女医 大いなる愛と精神

荻野吟子は、江戸時代末期の嘉永4年(1851)年3月3日、利根川近くの幡羅郡俵瀬村(現在の熊谷市俵瀬)に生まれた。幼少から才女として知られ、若くして結婚したが病を発症し離婚。この治療の体験により女医の必要性を痛感し、医師になることを決意した。吟子は上京した後、東京女子師範学校、私立医学校「好寿院」を優秀な成績で卒業した。女性が医学を修め医師となる道が閉ざされていた中で意義深い一歩を踏み出した。明治18年(1885)、吟子は男性優位の制度など多くの障壁を乗り越え、医術開業試験を受験し合格。日本公許登録女医第1号となり、東京の本郷湯島で開業した。吟子は医療に留まらず、女性の社会進出を目指す運動などに力を注いだ。結婚した夫と共にキリスト教の理想郷建設のために北海道へ移住し、地域の医療に務めたが、夫の病死など過酷な運命にも直面した。晩年は東京に戻り、温かな目線で患者と向き合い続け、大正2年(1913)に激動の一生を終えた。吟子の生誕地には史跡公園や記念館が開設され、吟子の偉業を熊谷の地に伝えている。

(熊谷市立江南文化財センター　山下祐樹)



吟子と市指定史跡「荻野吟子生誕の地」(熊谷市俵瀬)

熊谷の道端から ～ゆるゆる散歩雑記帳～

熊谷駅前風景の移ろい

毎年1月6日は熊谷市出初め式が行われ、高城神社ほか市街地の十数か所で熊谷鳶による梯子乗りが披露される。その妙技に魅せられ毎年写真に収めていると、背後の風景の移ろいにも気付く。熊谷駅北口の駅西通りは、中心市街地の中でもこの四半世紀で著しくイメージを変えた地だが、梯子乗りの写真を8年前から追うだけでも、企業看板の入れ替わりや2棟の大きなビル建設と、色々変化が見て取れる。何気ない熊谷風景も、定点観測して蓄積すれば時代の移り変わりを記録する貴重な資料となる時が来るかもしれない。(N・T)

小麦の会が10周年を迎えられました。皆様のご支援を心より御礼申し上げます。

小麦の会が10周年を迎えられました。皆様のご支援を心より御礼申し上げます。

◆10月15日(土)ホテルガーデンパレスに於いて「認定NPO法人くまがや小麦の会」の10周年祝賀会がご来賓、会員の方約80名のご出席を頂き開催されました。アトラクションは森田義史氏のピアノコンサートでした。フレンチのフルコースを頂きながら、10年の歩みをご参加の皆様と分かち合いました。10周年記念誌として当日配布されました「認定NPOへの道」は認定NPO取得のガイドブックとして活用されていくことと存じます。(H)

10周年記念誌

わーくほーむ江南・結 合同成人式

毎年恒例、わーくほーむ江南、わーくほーむ結、合同の「成人を祝う会」に参加してまいりました。

くまがや小麦の会製品でお馴染みの「パウンド・フォー・パウンド」の生地を持参し、利用者さん全員で計り、型に入れ、オーブンで焼成します。

焼き立てのケーキを皆で試食し、お土産用に40個の袋詰めもしました。

成人を迎えた5名の方に、小麦の会からプレゼントを差し上げて、私たちも手作りのお土産をいただきました。明るい利用者さん達と一緒に、いっぱい笑って、とても楽しい時間でした。(R)

第3回 熊谷市内県立高校スイーツ文化祭開催

認定NPO法人くまがや小麦の会 主催

認定NPO法人くまがや小麦の会主催による第3回熊谷市内県立高校スイーツ文化祭は10月30日(日)に八木橋デパート一階にて賑やかに開催されました。参加校八校のアンケートの結果をまとめました。開催時期については良かったとの意見が多かった。「オ・ドーレなおざね」のコース変更に伴い、来客数が減少。来年度の販売数は検討したい。今年も収益金の全てを「国境なき医師団日本」に寄付した。学校内のカリキュラムの関係で、来年は中心となる職員が不在となるため、協力体制が限られる。一般市民の方に販売し、学校の宣伝になった。等々各学校から貴重なご意見をいただきました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。(M・M)

彩の国 教育週間 に参加 地域の活動にふれる授業

熊谷市立熊谷東小学校

熊谷東小学校　11月の彩の国教育週間「地域の活動に触れる授業」で11月2日(水)4年生を対象に地粉パウンドケーキの講習会が実施されました。

一人一人マジックで名前を書いたケーキの型に生地を計量して入れてオーブンの中へ。焼き上がりを待つ間は、日向会長の小麦についての講義や地産地消などの学習をし、ケーキの試食をしました。事前にインターネットで小麦の会の事を調べてきてくれたり、ケーキのレシピがぜひ欲しいなど講義中も必死にメモを取り積極的に学ぶ4年生の姿にとても感心しました。教室から廊下までケーキの良い香りが漂い、焼き上がったケーキに最後の仕上げとラッピングをして終了。一人一人温かいケーキを各家庭に持ち帰り、家族と一緒に今日の事を話しながらケーキを食べた事でしょう。(A・H)

セレモニーホール ゆうえん　JAくまがや指定　亡き人に心をこめて　0120-126-444
生花祭壇　生前予約葬　ゆうえん友の会
〒360-0813 埼玉県熊谷市円光 1-17-13　TEL：048-525-5444・FAX：048-525-5446

一貫性のある教育の実現　学校法人 立正幼稚園　Little Ricky　Rissho Kindergarten
http://www.rissho.ed/jp/　埼玉県熊谷市柿井1748-2　TEL.048-536-1688　FAX.048-536-2168

吉田・櫻井税理士法人　税理士 吉田 嘉高　税理士 吉田 貫之　税理士 櫻井 富美子
〒360-0014 熊谷市箱田2-2-8　TEL:048-521-0334　FAX:048-521-4506

くぼじまグループ くぼじまクリニック KUBOJIMA CLINIC　理事長・院長 大島 譲二
●総合内科(かかりつけ医)　●人工透析
〒360-0831 埼玉県熊谷市大字久保島1785-2　電話：048-533-7511(代)　FAX:048-533-4606
http://www.kubojima.com/home.html

Live schedule 3月 4月
19日(日)［ピアノ］川田千晶［フルート］松樹加寿子［ヴァイオリン］細村由美子
25日(土)［ギター］細川侑乃［ヴァイオリン］東 弘貴
26日(日)［ベリーダンス］DONYA
2日(日)［クラシックピアノ］森田義史
16日(日)［ジャズ］鎌倉 淳　Nori Ochiai
23日(日)［フラダンス］ビイラニ 朋子
OPEN17:30 START18:00　¥4,000　¥3,500
BAR すごもり　ご予約はこちらまで TEL 048-522-6955　住所 埼玉県熊谷市筑波2-106

株式会社 平松　代表取締役 日向研一朗
歴史が育む無限の可能性…地域密着・食品卸売業
原材料食品は包材まで御用命下さい　We are HIRAMATSU
〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1　TEL：048-521-0026
●ビッグベアショッピングモール　●平松興産株式会社

熊谷の風土と歴史の香りをお届けします　熊谷稲ビール　豆蔵　小麦の語らい
近江屋酒店　定休日：日曜日　http://www.oumiyasaketen.com/
熊谷市肥塚4-7　TEL 048-521-1009　FAX 048-521-3198

リサイクルの亀井産業グループ　太陽光発電 始めました。
亀井産業株式会社　熊谷カーボン